

2023年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	日本文学 (Japanese Literature) 2013-0-13-031					担当教員	丸山 義昭 (マルヤマ ヨシアキ)		
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	選択	単位 数	2	配当年次	1年次	開講期	後期
科目特性	知識定着・確認型AL								

① 授業のねらい・概要									
日本の近・現代文学の中から、主に著名な作家の優れた小説を読んでいく。導入として、翻訳された外国作品にも触れる。夏目漱石、芥川龍之介、宮澤賢治、太宰治、井伏鱒二、三島由紀夫、安部公房、村上春樹、川上弘美といった作家の小説を読む。設けた問いに沿って読み、意見の相互交流をはかりながら、深層批評の段階まで掘り下げていく。作品を読み味わいながら、自分が既に持っていた認識や価値観が揺さぶられるような文学体験ができればよい。									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
職業人として通用する能力／専門的知識・技能を活用する能力／コミュニケーション能力									
③ 授業の進め方・指示事項									
授業で取り上げる予定の小説をあらかじめ読み、複数の問いを考えてくること。(1時間以上) 授業後はその日のうちに、自分で分かるようにノートを整理しておくこと。(30分以上)									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
⑤ テキスト (教科書)									
その都度授業で本文プリントとレジュメを配布する。									
⑥ 参考図書・指定図書									
随時、授業で推薦する。									
⑦ 評価Aに対応する具体的な学習到達目標の目安									
(i) 小説のプロットを理解しながら、読み深めるためにいくつかの問いを立てることができる。 (ii) 小説の語り方や個々の表現に着目しながら、問いに対して自分の意見が持てるようになる。 (iii) 授業後の二次感想を表現することができる。									

⑧ ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	S	A	B	C	D
	到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(i) 概略把握	作品の粗筋について本文を見なくても細かいところまで説明できる。	作品の粗筋について本文を見なくても説明できる。	作品の粗筋について本文を見ながら説明できる。	作品の粗筋について本文を見ながら、さらに教員等の支援を受けて説明できる。	作品の粗筋について本文を見ても、教員等の支援を受けても説明できない。
(ii) 正確な理解	その作品がどう読めるのか、ノートを見なくても細かいところまで説明できる。	その作品がどう読めるのか、ノートを見なくても説明できる。	その作品がどう読めるのか、ノートを見ながら説明できる。	その作品がどう読めるのか、ノートを見ながら、さらに教員等の支援を受けて説明できる。	その作品がどう読めるのか、ノートを見ても、教員等の支援を受けても説明できない。
(iii) 表現力	その作品の読みに対する独自の见解を細かく書き表すことができる。	その作品の読みに対する见解を書き表すことができる。	その作品の読みに対する感想を書き表すことができる。	その作品の読みを、ノートを見ながら書き表すことができる。	その作品の読みを、ノートを見ても書き表すことができない。

⑨ 学習の到達目標（評価項目）とその評価の方法、フィードバックの方法								
学習到達目標（評価項目）	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	70%		25%			5%		100%
(i) 概略把握	25%		10%			5%		40%
(ii) 正確な理解	25%		10%					35%
(iii) 表現力	20%		5%					25%
フィードバックの方法	毎回、前時の課題を返却して解説する。							

⑩ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
知識定着・確認型ALを採用し、双方向でのコミュニケーションを意識した授業を目指していく。 小説はあらかじめ読んできて、読み深めるための問いをいくつか考えてくること。

⑪ 授業計画と学習課題

回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分） （※特別な持参物）	
1	小説の読み方について ヘッセ『少年の日の思い出』と魯迅『故郷』	中学・高校で習った小説をざっとでよいので再読してくる。授業後はその日のうちに、自分で分かるようにノートを整理しておくこと。	120分
2	宮澤賢治『注文の多い料理店』	指定の作品を読み、複数の問いを考えてくる。授業後はその日のうちに、自分で分かるようにノートを整理しておくこと。	120分
3	安部公房『公然の秘密』	指定の作品を読み、複数の問いを考えてくる。授業後はその日のうちに、自分で分かるようにノートを整理しておくこと。	120分
4	太宰治『葉桜と魔笛』	指定の作品を読み、複数の問いを考えてくる。授業後はその日のうちに、自分で分かるようにノートを整理しておくこと。	120分
5	井伏鱒二『山椒魚』	指定の作品を読み、複数の問いを考えてくる。授業後はその日のうちに、自分で分かるようにノートを整理しておくこと。	120分
6	三島由紀夫『美神』	指定の作品を読み、複数の問いを考えてくる。授業後はその日のうちに、自分で分かるようにノートを整理しておくこと。	120分
7	夏目漱石『夢十夜』「第一夜」	指定の作品を読み、複数の問いを考えてくる。授業後はその日のうちに、自分で分かるようにノートを整理しておくこと。	120分
8	村上春樹『象の消滅』	指定の作品を読み、複数の問いを考えてくる。授業後はその日のうちに、自分で分かるようにノートを整理しておくこと。	120分
9	芥川龍之介『トロッコ』	指定の作品を読み、複数の問いを考えてくる。授業後はその日のうちに、自分で分かるようにノートを整理しておくこと。	120分
10	芥川龍之介『白』	指定の作品を読み、複数の問いを考えてくる。授業後はその日のうちに、自分で分かるようにノートを整理しておくこと。	120分
11	宮澤賢治『土神と狐』	指定の作品を読み、複数の問いを考えてくる。授業後はその日のうちに、自分で分かるようにノートを整理しておくこと。	120分
12	夏目漱石『夢十夜』「第六夜」	指定の作品を読み、複数の問いを考えてくる。授業後はその日のうちに、自分で分かるようにノートを整理しておくこと。	120分

13	川端康成『伊豆の踊子』	指定の作品を読み、複数の問いを考えてくること。授業後はその日のうちに、自分で分かるようにノートを整理しておくこと。	120分
14	川上弘美『神様』	指定の作品を読み、複数の問いを考えてくること。授業後はその日のうちに、自分で分かるようにノートを整理しておくこと。	120分
15	川上弘美『離さない』	指定の作品を読み、複数の問いを考えてくること。授業後はその日のうちに、自分で分かるようにノートを整理しておくこと。	120分

⑫ アクティブラーニングについて	
知識定着・確認型ALを採用する。各回終了後に、質問や意見を書いてもらい、次回の授業に組み込んで回答する。	

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目	
実務経験の概要	
実務経験と授業科目との関連性	